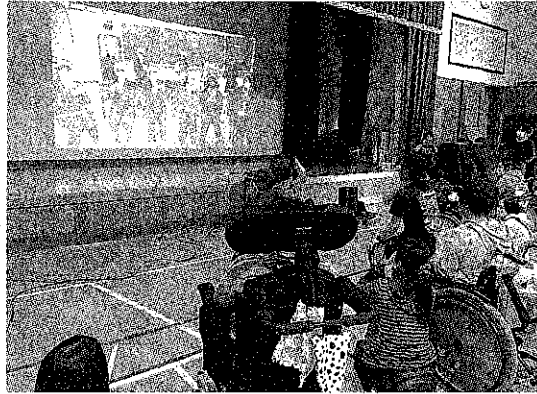


ダンス等の感想伝え合う 白糠養護と白糠高 交流学习



スクリーン越しに交流を深めた

【釧路発】白糠養護学校（仲條正輝校長）と白糠高校（田村信明校長）は16日、ウェブ会議システムZOOMを活用した交流学习を実施した。それぞれ練習したダンスや演奏などを披露

し、互いに感想を伝えるなどして交流を深めた。

白糠養護からは高等部生10人、白糠高からは3年生12人が参加。白糠高は「生活と福祉」の学習の一環として実施した。

生徒たちはいつもと違う交流に最初は緊張した様子だったが、徐々にやりとりが進み、互いに打ち解けることができた。

生徒からは「知っている曲を歌ってくれて、うれしかった」「リモートだったが実際に交流している感じがあった」などの感想が寄せられた。

担当した白糠養護の石渡雅道教諭は「本年度は1回限りの実施だが、今回の実践を踏まえ、リモートでも互いの交流が深まるよう次年度以降工夫していきたい」と話した。